

令和元年度

決算・業務実績の概要

地方独立行政法人山口県立病院機構

目 次

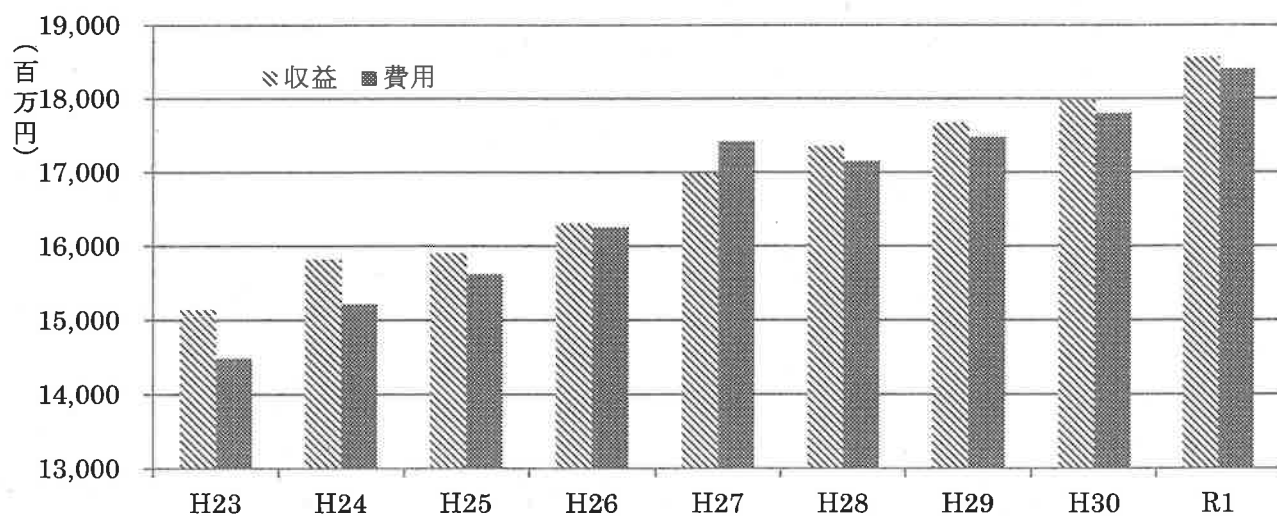
1. 山口県立病院機構の決算見込み（損益計算書ベース）について	1
2. 総合医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について	5
3. こころの医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について	9
4. 令和元年度収支実績の前年度対比	13
5. 令和元年度収支計画と収支実績の対比	15
6. 令和元年度業務実績	17

山口県立病院機構の決算見込み（損益計算書ベース）について

1 令和元年度決算の概況	
決算規模	[収益] 185億5,800万円（対前年度比+3.2% +5億8,300万円） [費用] 183億8,800万円（対前年度比+3.3% +5億9,100万円）
収益の状況	○ 医業収益は、入院診療収益や外来診療収益の増等により増加
費用の状況	○ 医業費用は、材料費や減価償却費の増等により増加 ○ 控除対象外消費税は、消費税の増税等により増加
経常利益	○ 1億9,700万円の黒字（2年連続）
純利益	○ 1億7,000万円の黒字（4年連続）
利益剰余金	○ 残高は、9億400万円

2 決算規模・決算収支	
○	決算規模は、収益185億5,800万円、費用183億8,800万円となり、収益費用とも前年度決算額より増加。独法化以降、いずれも増加する傾向
○	経常利益は2年連続の黒字、純利益は4年連続の黒字
○	独法化以降、経常利益、純利益とも概ね黒字を維持。平成27年度は市場金利の低下により将来の退職金給付のため費用（6億1,800万円）を計上したこと等から経常利益、純利益とも大幅な赤字を計上

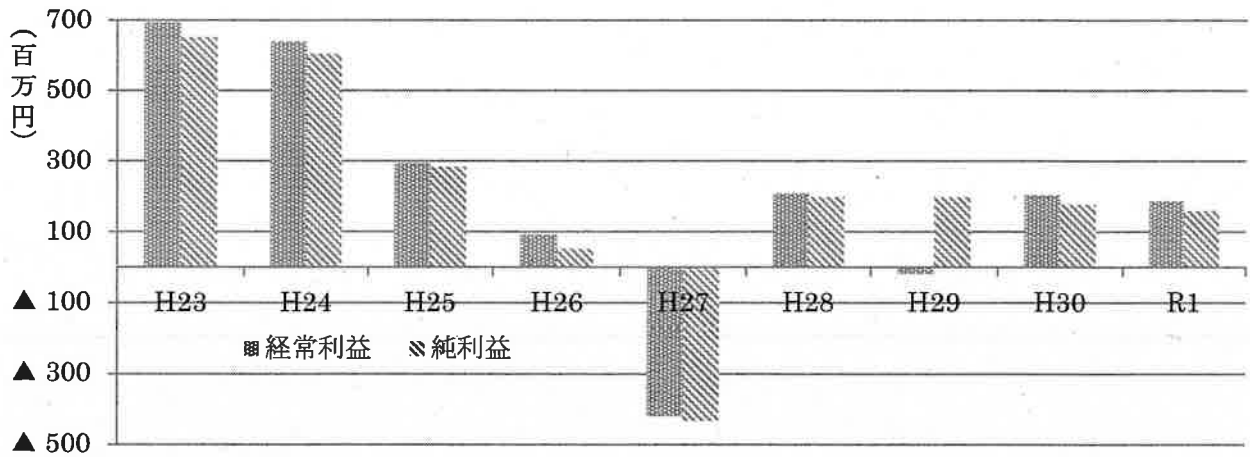
(1) 決算規模の推移



(単位 百万円、%)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
収 益	15,134	15,819	15,904	16,304	16,981	17,350	17,674	17,975	18,558
前年度比	-	4.5	0.5	2.5	4.2	2.2	1.9	1.7	3.2
費 用	14,482	15,215	15,620	16,251	17,414	17,151	17,474	17,797	18,388
前年度比	-	5.1	2.7	4.0	7.2	▲ 1.5	1.9	1.8	3.3

(2) 決算収支（経常利益・純利益）の推移



(単位 百万円)

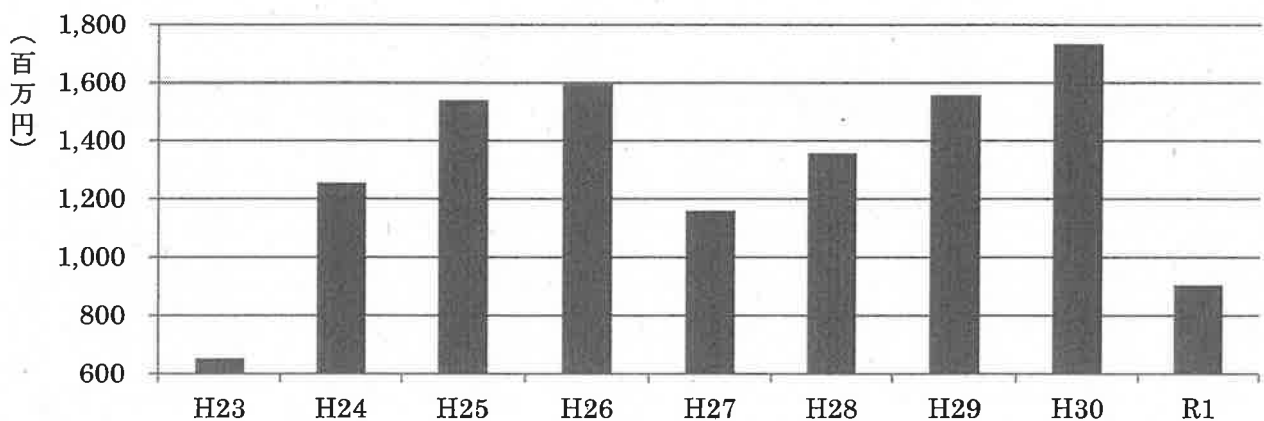
年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
経常利益	694	639	294	93	▲ 420	209	▲ 19	203	197
純利益	652	604	283	53	▲ 433	199	199	178	170

3 利益剰余金残高

- 利益剰余金は、純利益の黒字により前年度比+1億7,000万円。
- 地方独立行政法人法第40条第5項の規定により利益剰余金の一部10億円を県に納付。(▲10億円)
- 結果、利益剰余金残高は9億400万円。(▲8億3,000万円)

(単位 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
剰余金残高	652	1,255	1,539	1,591	1,159	1,357	1,557	1,734	904
前年度比	-	92.5	22.6	3.4	▲ 27.2	17.1	14.7	11.4	▲ 47.9



【参考：地方独立行政法人法（抜粋）】

(利益及び損失の処理等)

第40条第5項 地方独立行政法人は、前項に規定する積立金の額に相当する金額から同項の規定による承認を受けた金額を控除してなお残余があるときは、その残余の額を設立団体に納付しなければならない。

4 収益

- 医業収益は、入院診療収益、外来診療収益とも増加し、前年度比+4.1% (+6億5,700万円)
 - ・入院診療収益は、新規入院患者数（総合C）の増等により増加
 - ・外来診療収益は、診療単価の増等により増加
- 運営費負担金は、看護師養成確保事業に要する経費の減等により、前年度比▲0.3% (▲500万円)
- 営業外収益は、賠償金の支払いに伴う保険金の受け取り（総合C）の減等により、前年度比▲34.6% (▲5,500万円)
- 独法化以降、医業収益は、増加する一方、運営費負担金は減少する傾向

(単位 百万円、%)

区 分	R1	H30	比 較	
			増減額	増減率
営業収益	18,453	17,816	637	3.6
うち医業収益	16,518	15,861	657	4.1
うち入院診療収益	12,371	11,993	378	3.2
うち外来診療収益	3,878	3,594	284	7.9
うち運営費負担金	1,634	1,637	▲3	▲0.2
営業外収益	104	159	▲55	▲34.6
うち運営費負担金	18	20	▲2	▲10.0
臨時利益	0	0	0	-
収益合計	18,558	17,975	583	3.2

運営費負担金合計	1,652	1,657	▲5	▲0.3
----------	-------	-------	----	------

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。(以下同じ)

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
営業収益	14,978	15,678	15,738	16,181	16,839	17,222	17,325	17,816	18,453
うち医業収益	12,538	13,232	13,763	14,164	14,828	15,189	15,367	15,861	16,518
うち入院診療収益	9,537	10,120	10,722	10,959	11,371	11,471	11,632	11,993	12,371
うち外来診療収益	2,713	2,866	2,803	2,968	3,196	3,438	3,452	3,594	3,878
うち運営費負担金	2,200	2,100	1,670	1,692	1,700	1,708	1,650	1,637	1,634
営業外収益	153	141	165	122	142	128	118	159	104
うち運営費負担金	66	53	45	40	37	28	23	20	18
臨時利益	3	0	0	0	0	0	232	0	0
収益合計	15,134	15,819	15,904	16,304	16,981	17,350	17,674	17,975	18,558
運営費負担金合計	2,266	2,153	1,715	1,732	1,737	1,736	1,673	1,657	1,652

5 費用

- 医業費用は、材料費、減価償却費や経費等の増加により、前年度比+3.6% (+6億800万円)
 - ・材料費は、薬物療法の増加に伴う医薬品費の増（総合C）等により増加
 - ・経費は、委託費の増（総合C）等により増加
 - ・減価償却費は、電子カルテの更新（総合C）等により増加
- 一般管理費は、本部事務局の給与費の減等により前年度比▲11.5% (▲3,300万円)
- 控除対象外消費税は、消費税の増税等により前年度比+12.5% (+6,800万円)
- 営業外費用は、賠償金の支払いの減（総合C）等により、前年度比▲62.1% (▲5,400万円)
- 独法化以降、医業費用は増加する傾向

(単位 百万円、%)

区 分	R1	H30	比 較	
			増減額	増減率
営業費用	18,328	17,685	643	3.6
医業費用	17,380	16,772	608	3.6
うち給与費	9,036	8,950	86	1.0
うち材料費	4,602	4,306	296	6.9
うち経費	2,362	2,252	110	4.9
うち減価償却費	1,324	1,204	120	10.0
一般管理費	254	287	▲ 33	▲ 11.5
控除対象外消費税等	694	626	68	10.9
営業外費用	33	87	▲ 54	▲ 62.1
臨時損失	27	25	2	8.0
費用合計	18,388	17,797	591	3.3

(単位 百万円)

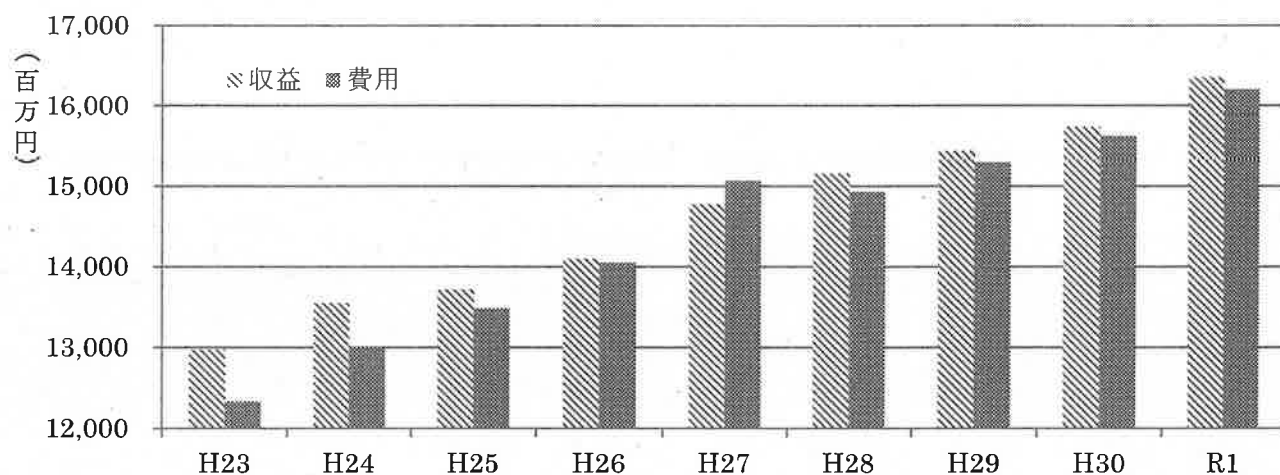
区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
営業費用	14,315	15,080	15,524	16,135	17,323	17,087	17,419	17,685	18,328
医業費用	13,476	14,302	14,902	15,241	16,442	16,247	16,592	16,772	17,380
うち給与費	7,266	7,473	7,690	8,098	8,926	8,575	8,877	8,950	9,036
うち材料費	3,322	3,487	3,710	3,680	3,884	4,040	4,166	4,306	4,602
うち経費	1,816	2,053	2,176	2,198	2,238	2,204	2,286	2,252	2,362
うち減価償却費	1,031	1,238	1,267	1,203	1,332	1,373	1,208	1,204	1,324
一般管理費	489	429	302	311	359	305	280	287	254
控除対象外消費税等	350	349	319	584	522	535	547	626	694
営業外費用	122	100	85	75	77	54	43	87	33
臨時損失	45	36	11	41	13	10	13	25	27
費用合計	14,482	15,215	15,620	16,251	17,414	17,151	17,474	17,797	18,388

総合医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について

1 令和元年度決算の概況（本部費配賦額込）	
決算規模	[収益]163億4,700万円(対前年度比+3.9% +6億1,000万円) [費用]161億9,000万円(対前年度比+3.7% +5億6,800万円)
収益の状況	○ 医業収益は、入院診療収益や外来診療収益の増等により増加 ○ 営業外利益は、賠償金の支払いに伴う保険金の受け取り減等により減少
費用の状況	○ 医業費用は、材料費や減価償却費の増等により増加 ○ 控除対象外消費税は、消費税の増税等により増加
経常利益	○ 1億8,400万円の黒字（2年連続）
純利益	○ 1億5,700万円の黒字（4年連続）

2 決算規模・決算収支	
○	決算規模は、収益163億4,700万円、費用161億9,000万円となり、収益費用とも前年度決算額より増加。独法化以降、いずれも増加する傾向
○	経常利益は前年度に続き2年連続の黒字、純利益は4年連続の黒字
○	独法化以降、経常利益、純利益とも概ね黒字を維持している。平成27年度は市場金利の低下により将来の退職給付のための費用を計上したこと等から経常利益、純利益ともに赤字を計上

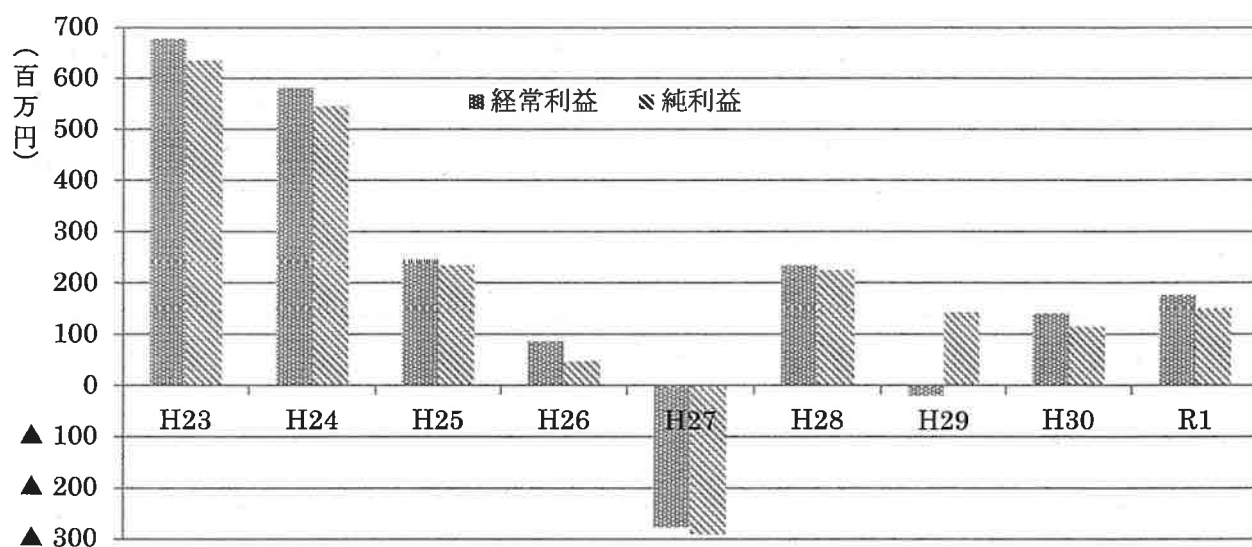
(1) 決算規模の推移



(単位: 百万円、%)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
収益	12,970	13,547	13,716	14,094	14,771	15,153	15,434	15,737	16,347
前年度比	-	4.4	1.2	2.8	4.8	2.6	1.9	2.0	3.9
費用	12,335	13,002	13,482	14,046	15,062	14,929	15,291	15,622	16,190
前年度比	-	5.4	3.7	4.2	7.2	▲ 0.9	2.4	2.2	3.6

(2) 決算収支（経常利益・純利益）の推移

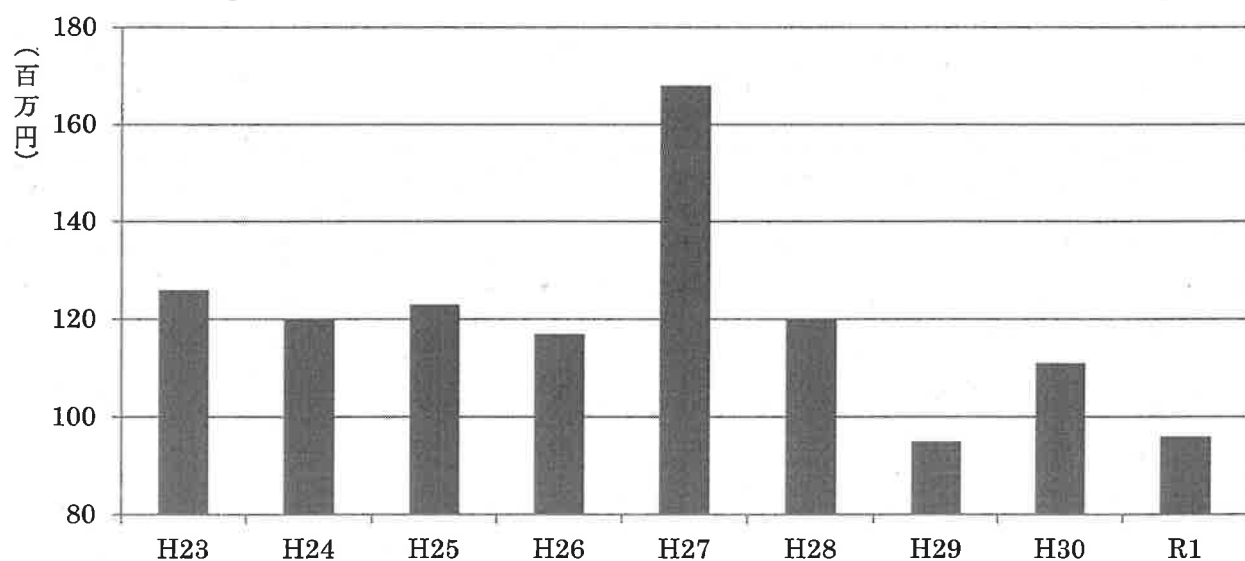


(単位 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
経常利益	678	581	245	87	▲ 278	234	▲ 20	140	184
純利益	635	545	234	48	▲ 291	224	143	115	157

3 本部費配賦額

- 本部費配賦額は、本部事務局の給与費の減等により、前年度比▲13.5% (▲1,500万円)
- 平成27年度は、本部職員にかかる将来の退職金給付のため費用を計上したこと等から大幅に増加



(単位 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
本部費配賦額	126	120	123	117	168	120	95	111	96
前年度比	-	▲ 4.8	2.5	▲ 4.9	43.6	▲ 28.6	▲ 20.8	16.8	▲ 13.5

4 収益

- 医業収益は、入院診療収益、外来診療収益とも増加し、前年度比+4.7% (+6億7,100万円)
 - ・入院診療収益は、新規入院患者数（手術件数）の増等により増加
 - ・外来診療収益は、診療単価の増等により増加
- 営業外収益は、賠償金の支払いに伴う保険金の受け取りの減等により、前年度比▲36.4% (▲5,200万円)
- 独法化以降、医業収益は、増加する一方、運営費負担金は減少する傾向

(単位 百万円、%)

区 分	R1	H30	比 較	
			増減額	増減率
営業収益	16,256	15,594	662	4.2
うち医業収益	14,936	14,265	671	4.7
うち入院診療収益	11,020	10,623	397	3.7
うち外来診療収益	3,648	3,369	279	8.3
うち運営費負担金	1,092	1,085	7	0.6
営業外収益	91	143	▲ 52	▲ 36.4
うち運営費負担金	8	10	▲ 2	▲ 20.0
臨時利益	0	0	0	-
収益合計	16,347	15,737	610	3.9
運営費負担金合計	1,100	1,095	5	0.5

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。(以下同じ)

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
営業収益	12,851	13,434	13,578	13,994	14,651	15,044	15,164	15,594	16,256
うち医業収益	11,146	11,838	12,243	12,599	13,265	13,647	13,848	14,265	14,936
うち入院診療収益	8,308	8,917	9,398	9,602	10,020	10,148	10,332	10,623	11,020
うち外来診療収益	2,550	2,676	2,607	2,760	2,985	3,220	3,233	3,369	3,648
うち運営費負担金	1,539	1,422	1,153	1,161	1,156	1,155	1,082	1,085	1,092
営業外収益	117	113	139	100	120	109	100	143	91
うち運営費負担金	37	32	26	23	21	14	12	10	8
臨時利益	2	0	0	0	0	0	170	0	0
収益合計	12,970	13,547	13,716	14,094	14,771	15,153	15,434	15,737	16,347
運営費負担金合計	1,576	1,454	1,179	1,184	1,177	1,169	1,094	1,095	1,100

5 費用

- 医業費用は、材料費や経費、減価償却費等の増加により、前年度比+3.8% (+5億7,000万円)
 - ・材料費は、薬物療法の増加に伴う医薬品費の増等により増加
 - ・経費は、委託費の増等により増加
 - ・減価償却費は、電子カルテの更新等により増加
- 本部配賦額は、本部事務局の給与費の減等により前年度比▲13.5% (▲1,500万円)
- 控除対象外消費税は、消費税の増税等により前年度比+10.6% (+6,300万円)
- 営業外費用は、賠償金の支払いの減等により、前年度比▲78.8% (▲5,200万円)
- 独法化以降、医業費用は増加する傾向

(単位 百万円、%)

区 分	R1	H30	比 較	
			増減額	増減率
営業費用	16,149	15,531	618	4.0
医業費用	15,397	14,827	570	3.8
うち給与費	7,622	7,587	35	0.5
うち材料費	4,511	4,217	294	7.0
うち経費	2,088	1,984	104	5.2
うち減価償却費	1,126	987	139	14.1
本部配賦額	96	111	▲15	▲13.5
控除対象外消費税等	656	593	63	10.6
営業外費用	14	66	▲52	▲78.8
臨時損失	27	25	2	8.0
費用合計	16,190	15,622	568	3.6

(単位 百万円)

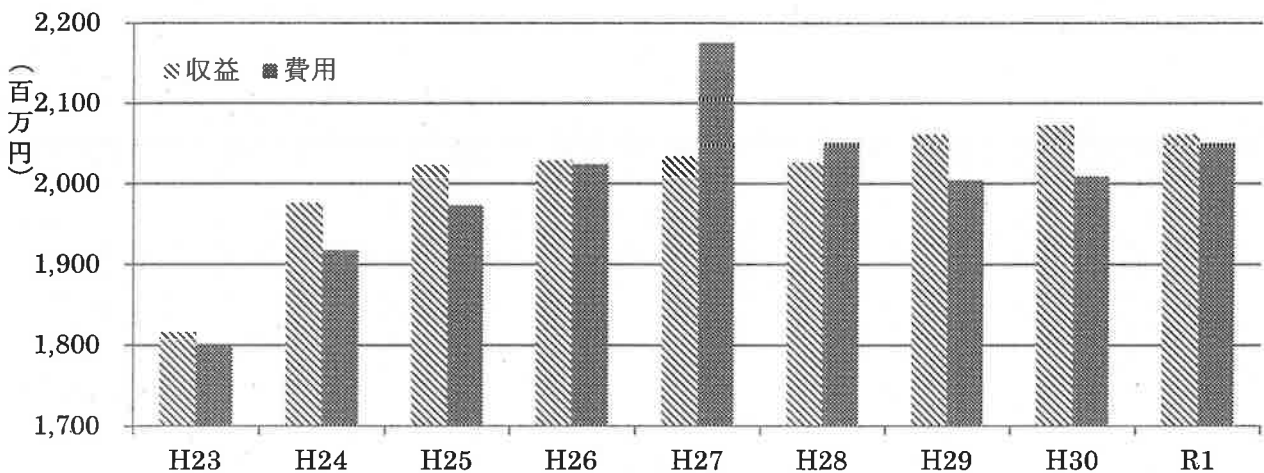
区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
営業費用	12,226	12,910	13,425	13,966	15,007	14,894	15,259	15,531	16,149
医業費用	11,777	12,490	13,007	13,298	14,350	14,272	14,651	14,827	15,397
うち給与費	6,079	6,201	6,388	6,743	7,420	7,179	7,506	7,587	7,622
うち材料費	3,244	3,400	3,617	3,591	3,790	3,941	4,078	4,217	4,511
うち経費	1,584	1,802	1,909	1,936	1,979	1,956	2,031	1,984	2,088
うち減価償却費	838	1,048	1,043	973	1,108	1,149	986	987	1,126
本部配賦額	126	120	123	117	168	120	95	111	96
控除対象外消費税等	323	300	295	552	489	502	514	593	656
営業外費用	64	56	46	41	45	24	20	66	14
臨時損失	45	36	11	39	10	10	12	25	27
費用合計	12,335	13,002	13,482	14,046	15,062	14,929	15,291	15,622	16,190

こころの医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について

1 令和元年度決算の概況（本部費配賦額込）	
決算規模	[収益] 20億6,100万円（対前年度比▲0.5% ▲1,100万円） [費用] 20億4,900万円（対前年度比+2.0% +4,000万円）
収益の状況	○ 医業収益は、外来診療収益は増加したものの、入院診療収益の減により減少
費用の状況	○ 医業費用は、給与費の増等により増加
経常利益	○ 1,200万円の黒字（3年連続）
純利益	○ 1,200万円の黒字（3年連続）

2 決算規模・決算収支
○ 決算規模は、収益20億6,100万円、費用20億4,900万円となり、収益は減少したが費用は前年度決算額より増加。収益は平成25年度以降、大きな変化がなく、費用は平成28年度以降、大きな変化がない
○ 平成27年から2年間、経常利益、純利益とも赤字に陥ったが、平成29年度以降、3年連続で、いずれも黒字を維持している。
○ 平成27年度は市場金利の低下により将来の退職金給付のため費用を計上したこと等からいずれも大幅な赤字

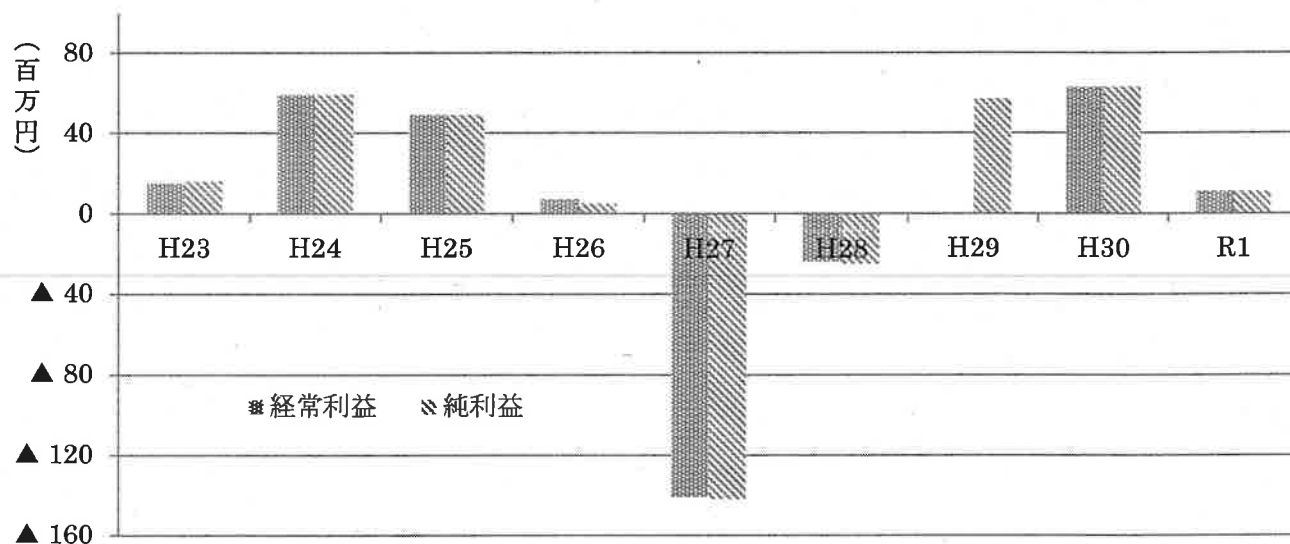
(1) 決算規模の推移



(単位: 百万円、%)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
収 益	1,815	1,976	2,022	2,029	2,033	2,026	2,061	2,072	2,061
前年度比	-	8.9	2.3	0.3	0.2	▲ 0.3	1.7	0.5	▲ 0.5
費 用	1,799	1,917	1,973	2,024	2,175	2,051	2,004	2,009	2,049
前年度比	-	6.6	2.9	2.6	7.5	▲ 5.7	▲ 2.3	0.2	2.0

(2) 決算収支（経常利益・純利益）の推移

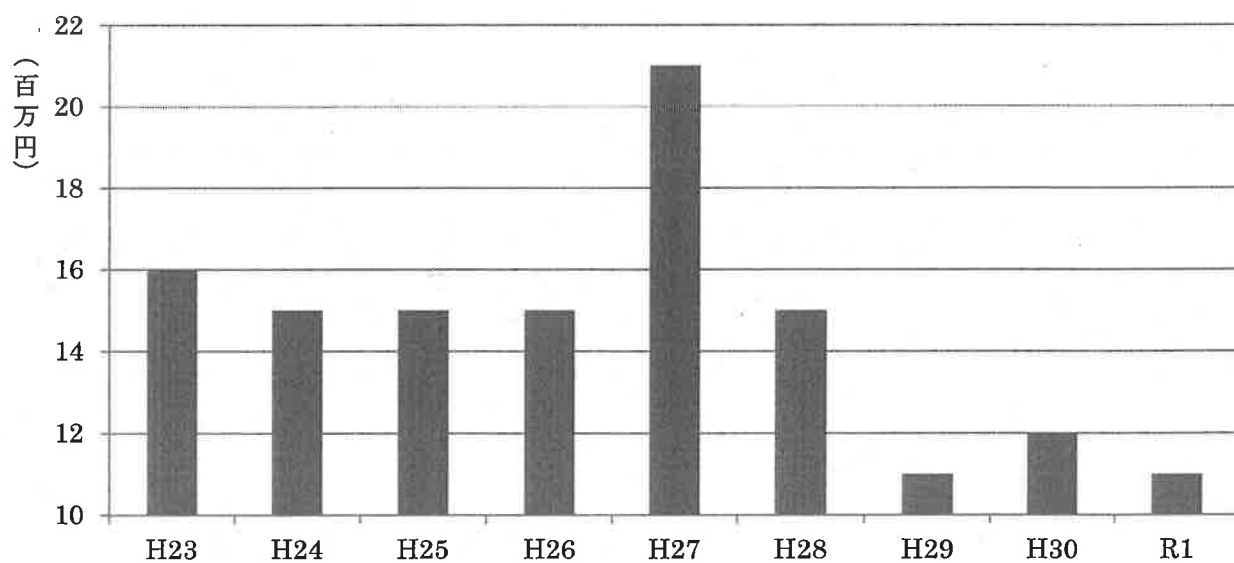


（単位 百万円）

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
経常利益	15	59	49	7	▲ 141	▲ 24	0	63	12
純利益	16	59	49	5	▲ 142	▲ 25	57	63	12

3 本部配賦額

○ 平成 27 年度は、本部職員にかかる将来の退職金給付のため費用を計上したこと等から大幅に増加



（単位 百万円）

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
本部費配賦額	16	15	15	15	21	15	11	12	11
前年度比	-	▲ 6.3	0.0	0.0	40.0	▲ 28.6	▲ 26.7	9.1	▲ 8.3

4 収益

- 医業収益は、外来診療収益は増加したものの、入院診療収益が減少したことから、前年度比▲5.1% (▲1,500万円)
 - ・入院診療収益は、医療観察法病棟の患者数の減等により減少
 - ・外来診療収益は、診療単価の増等により増加
- 運営費負担金は、県の給与改定に伴う人件費の増により増加し、前年度比+1.5% (+600万円)
- 平成25年度以降、収益合計は大きく変化していない

(単位 百万円、%)

区 分	R1	H30	比 較	
			増減額	増減率
営業収益	2,047	2,056	▲ 9	▲ 0.4
うち医業収益	1,582	1,596	▲ 14	▲ 0.9
うち入院診療収益	1,351	1,370	▲ 19	▲ 1.4
うち外来診療収益	231	225	6	2.7
うち運営費負担金	393	386	7	1.8
営業外収益	14	16	▲ 2	▲ 12.5
うち運営費負担金	10	11	▲ 1	▲ 9.1
臨時利益	0	0	0	-
収益合計	2,061	2,072	▲ 11	▲ 0.5

運営費負担金合計	403	397	6	1.5
----------	-----	-----	---	-----

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。(以下同じ)

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
営業収益	1,779	1,948	1,995	2,007	2,011	2,007	1,987	2,056	2,047
うち医業収益	1,392	1,394	1,520	1,566	1,563	1,542	1,519	1,596	1,582
うち入院診療収益	1,228	1,203	1,323	1,357	1,351	1,323	1,300	1,370	1,351
うち外来診療収益	163	191	196	208	211	218	219	225	231
うち運営費負担金	313	382	352	350	367	381	395	386	393
営業外収益	35	28	26	22	22	19	17	16	14
うち運営費負担金	29	21	20	17	16	15	11	10	10
臨時利益	1	0	0	0	0	0	56	0	0
収益合計	1,815	1,976	2,022	2,029	2,033	2,026	2,061	2,072	2,061
運営費負担金合計	342	403	372	367	383	396	406	396	403

5 費用

- 医業費用は、減価償却費が減少したものの、給与費等の増加により前年度比+1.9% (+3,800万円)
 - ・ 給与費は、給与改定に伴う人件費の増等により増加
 - ・ 減価償却費は、電子カルテ償却終了に伴う減等により減少
- 費用は平成28年度以降、大きな変化がない

(単位 百万円、%)

区 分	R1	H30	比 較	
			増減額	増減率
営業費用	2,030	1,987	43	2.2
医業費用	1,983	1,945	38	2.0
うち給与費	1,415	1,364	51	3.7
うち材料費	90	88	2	2.3
うち経費	274	269	5	1.9
うち減価償却費	198	218	▲ 20	▲ 9.2
本部配賦額	11	12	▲ 1	▲ 8.3
控除対象外消費税等	36	30	6	20.0
営業外費用	19	21	▲ 2	▲ 9.5
臨時損失	0	0	0	-
費用合計	2,049	2,009	40	2.0

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
営業費用	1,741	1,874	1,933	1,988	2,143	2,021	1,982	1,987	2,030
医業費用	1,699	1,812	1,895	1,943	2,092	1,976	1,941	1,945	1,983
うち給与費	1,187	1,273	1,302	1,354	1,506	1,397	1,371	1,364	1,415
うち材料費	78	87	93	89	94	99	87	88	90
うち経費	233	251	267	262	259	249	255	269	274
うち減価償却費	193	190	225	230	224	224	222	218	198
本部配賦額	16	15	15	15	21	15	11	12	11
控除対象外消費税等	26	48	23	30	30	30	29	30	36
営業外費用	58	44	39	34	32	29	23	21	19
臨時損失	0	0	0	2	0	0	0	0	0
費用合計	1,799	1,917	1,973	2,024	2,175	2,051	2,004	2,009	2,049

令和元年度収支実績の前年度対比

山口県立病院機構

【医業収益】

入院診療収益は、総合医療センターにおける新規入院患者数（手術件数）の増等により増加。
 外来診療収益は、総合医療センターにおける薬物療法の増に伴う診療単価の増等により増加。

【その他収益】

その他営業収益は、総合医療センターにおける資産見返負債戻入の減により減少。
 その他営業外収益は、総合医療センターにおける保険金の受け取り（H30）の減により減少。

【医業費用】

給与費は、給与改定等により増加。
 材料費は、総合医療センターにおける薬物療法の増に伴う医薬品費の増により増加。
 経費は、総合医療センターにおける委託費の増により増加。
 減価償却費は、総合医療センターにおける電子カルテの更新により増加。

【その他費用】

控除対象外消費税は、消費税の増税等により増加。
 営業外費用は、総合医療センターにおける賠償金の支払い（H30）により減少。

◆対比表（損益計算書ベース）

（単位 千円）

区 分	H30	R 1	差額	主な増減内容（前年度対比）
収益の部	17,974,657	18,557,559	582,902	
営業収益	17,816,031	18,453,087	637,057	
医業収益	15,860,941	16,517,888	656,947	
うち入院診療収益	11,993,067	12,371,030	377,964	延患者数の増（総合C）
うち外来診療収益	3,594,293	3,878,496	284,202	診療単価の増
運営費負担金収益	1,637,041	1,634,243	△2,798	
その他営業収益	318,049	300,956	△17,093	資産見返負債戻入の減（総合C）
営業外収益	158,626	104,471	△54,155	
運営費負担金収益	20,273	17,864	△2,409	
その他営業外収益	138,354	86,607	△51,746	H30保険金受け取りの減（総合C）
臨時利益	0	0	0	
費用の部	17,796,754	18,387,962	591,208	
営業費用	17,684,607	18,327,702	643,095	
医業費用	16,772,273	17,379,809	607,536	
給与費	8,950,260	9,036,271	86,010	給与改定に伴う増
材料費	4,305,603	4,601,662	296,059	医薬品費の増
経費	2,252,440	2,362,363	109,923	委託費の増（総合C）
減価償却費	1,204,362	1,324,034	119,671	電子カルテ更新に伴う増（総合C）
その他医業費用	59,608	55,481	△4,126	
一般管理費	286,789	254,139	△32,649	職員数減に伴う給与費の減
控除対象外消費税等	625,545	693,753	68,208	消費増税に伴う増
営業外費用	87,198	33,330	△53,868	H30賠償金支払いの減（総合C）
臨時損失	24,949	26,930	1,980	
当期純利益	177,903	169,596	△8,307	
（経常利益）	202,852	196,526	△6,326	

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。

◆令和元年度収支実績の前年度対比表(部門別内訳)

前 年 度 対 比
(単位 千円)

区分	H30収支実績 A				R1収支実績 B				差額 (B-A)				主な増減理由(前年度対比)		
	総合C	こころC	本部	計	総合C	こころC	本部	計	総合C	こころC	本部	計	総合C	こころC	本部
収益の部	15,736,740	2,071,567	166,350	17,974,657	16,346,969	2,061,072	149,518	18,557,559	610,229	△10,496	△16,832	582,901			
営業収益	15,594,176	2,055,505	166,350	17,816,031	16,256,211	2,047,359	149,517	18,453,087	662,035	△8,146	△16,833	637,056			
医業収益	14,264,535	1,596,406	0	15,860,941	14,936,250	1,581,638	0	16,517,888	671,715	△14,768	0	656,947			
うち入院診療収益	10,622,616	1,370,451	0	11,993,067	11,020,266	1,350,764	0	12,371,030	397,651	△19,687	0	377,964	新規入院患者の増 (10,510人→10,938人)	医療観察入院患者の減 (2,423人→1,971人)	
うち外来診療収益	3,369,064	225,229	0	3,594,293	3,647,983	230,513	0	3,878,496	278,919	5,284	0	284,202	診療単価の増 (17,273円→18,892円)	診療単価の増 (6,207円→7,232円)	
運営費負担金収益	1,084,679	386,012	166,350	1,637,041	1,091,696	393,030	149,517	1,634,243	7,017	7,018	△16,833	△2,798			看護師養成確保事業に 要する経費の減
その他営業収益	244,962	73,087	0	318,049	228,265	72,691	0	300,956	△16,697	△396	0	△17,093	資産見返負債戻入の減		
営業外収益	142,564	16,062	0	158,626	90,758	13,712	1	104,471	△51,806	△2,350	1	△54,155			
運営費負担金収益	9,803	10,470	0	20,273	8,262	9,602	0	17,864	△1,541	△868	0	△2,409			
その他営業外収益	132,762	5,592	0	138,354	82,496	4,110	1	86,607	△50,265	△1,482	1	△51,746	保険金受け取りの減		
臨時利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
費用の部	15,510,722	1,996,875	289,157	17,796,754	16,093,234	2,038,206	256,522	18,387,962	582,512	41,332	△32,635	591,209			
営業費用	15,420,028	1,975,422	289,157	17,684,607	16,052,263	2,018,917	256,522	18,327,702	632,234	43,497	△32,635	643,096			
医業費用	14,826,911	1,945,362	0	16,772,273	15,396,637	1,983,172	0	17,379,809	569,725	37,811	0	607,536			
給与費	7,586,501	1,363,759	0	8,950,260	7,621,629	1,414,641	0	9,036,271	35,128	50,882	0	86,010	給与改定に伴う増	給与改定に伴う増	
材料費	4,217,328	88,275	0	4,305,603	4,511,409	90,252	0	4,601,662	294,082	1,978	0	296,059	医薬品費の増		
経費	1,983,528	268,912	0	2,252,440	2,088,348	274,015	0	2,362,363	104,820	5,103	0	109,923	委託費の増	水道光熱費の増 (下水接続)	
減価償却費	986,541	217,821	0	1,204,362	1,125,896	198,137	0	1,324,034	139,355	△19,684	0	119,671	電子カルテ更新に伴う増	電子カルテ償却終了に 伴う減	
その他医業費用	53,013	6,595	0	59,608	49,355	6,127	0	55,481	△3,659	△467	0	△4,126			
一般管理費	0	0	286,789	286,789	0	0	254,139	254,139	0	0	△32,649	△32,649			職員減に伴う減
控除対象外消費税等	593,117	30,060	2,368	625,545	655,626	35,745	2,382	693,753	62,509	5,686	14	68,209	消費増税に伴う増	消費増税に伴う増	
営業外費用	66,016	21,182	0	87,198	14,041	19,289	0	33,330	△51,974	△1,893	0	△53,868	賠償金支払いの減		
臨時損失	24,678	271	0	24,949	26,930	0	0	26,930	2,252	△271	0	1,980			
当期純利益	226,018	74,692	△122,807	177,903	253,735	22,865	△107,004	169,596	27,717	△51,828	15,803	△8,308			
(経常利益)	250,696	74,962	△122,807	202,852	280,665	22,865	△107,004	196,526	29,969	△52,099	15,803	△6,327			
(経常利益 本部費配賦込)	140,169	62,683	0	202,852	184,361	12,165	0	196,526	44,192	△50,518	0	△6,327			

経常収支比率	101.62%	103.75%	57.53%	101.14%	101.75%	101.12%	58.29%	101.07%
--------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	--------	---------

(注)表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。

令和元年度収支計画と収支実績の対比

山口県立病院機構

【医業収益】

入院診療収益は、診療単価の減により減少。
 外来診療収益は、外来延患者数の減により減少。

【医業費用】

給与費は、職員数の減により減少。
 材料費は、総合医療センターにおける薬物療法の増に伴う医薬品費の増により増加。
 経費は、水道光熱費及び修繕費等の減により減少。
 減価償却費は、建設改良の減により減少。

【その他費用】

一般管理費は、職員数の減に伴う給与費の減により減少。
 控除対象外消費税は、器械備品購入費の減により減少。

◆対比表（損益計算書ベース）

（単位 千円）

区 分	収支計画	収支実績	差額	主な増減内容（計画対比）
収益の部	18,993,195	18,557,559	△435,636	
営業収益	18,879,136	18,453,087	△426,049	
医業収益	16,938,722	16,517,888	△420,834	
うち入院診療収益	12,679,595	12,371,030	△308,565	診療単価の減
うち外来診療収益	3,957,334	3,878,496	△78,838	外来延患者数の減
運営費負担金収益	1,632,528	1,634,243	1,715	
その他営業収益	307,886	300,956	△6,930	
営業外収益	114,059	104,471	△9,588	
運営費負担金収益	19,959	17,864	△2,095	
その他営業外収益	94,100	86,607	△7,493	
臨時利益	0	0	0	
費用の部	18,941,531	18,387,962	△553,569	
営業費用	18,865,660	18,327,702	△537,958	
医業費用	17,763,174	17,379,809	△383,365	
給与費	9,412,763	9,036,271	△376,492	職員数の減
材料費	4,401,545	4,601,662	200,117	医薬品費の増（総合C）
経費	2,442,461	2,362,363	△80,098	水道光熱費及び修繕費等の減（総合C）
減価償却費	1,425,337	1,324,034	△101,303	建設改良の減
その他医業費用	81,068	55,481	△25,587	研修費の減
一般管理費	358,865	254,139	△104,726	職員数減に伴う給与費の減
控除対象外消費税等	743,621	693,753	△49,868	器械備品購入費の減
営業外費用	40,267	33,330	△6,937	
臨時損失	35,604	26,930	△8,674	
当期純利益	51,664	169,596	117,933	
（経常利益）	87,268	196,526	109,258	

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。

◆令和元年度収支計画と収支実績との対比表(部門別内訳)

計 画 対 比

(単位 千円)

区分	R1収支計画 A				R1収支実績 B				差額 (B-A)				主な増減理由(計画対比)		
	総合C	こころC	本部	計	総合C	こころC	本部	計	総合C	こころC	本部	計	総合C	こころC	本部
収益の部	16,645,168	2,164,153	183,874	18,993,195	16,346,969	2,061,072	149,518	18,557,559	△298,199	△103,081	△34,356	△435,636			
営業収益	16,546,690	2,148,572	183,874	18,879,136	16,256,211	2,047,359	149,517	18,453,087	△290,479	△101,213	△34,357	△426,049			
医業収益	15,246,105	1,692,617	0	16,938,722	14,936,250	1,581,638	0	16,517,888	△309,855	△110,979	0	△420,834			
うち入院診療収益	11,245,423	1,434,172	0	12,679,595	11,020,266	1,350,764	0	12,371,030	△225,157	△83,408	0	△308,565	診療単価の減 (70,309円→68,107円)	診療単価の減 (23,159円→22,384円)	
うち外来診療収益	3,699,546	257,788	0	3,957,334	3,647,983	230,513	0	3,878,496	△51,563	△27,275	0	△78,838	外来延患者数の減 (204,120人→194,880人)	外来延患者数の減 (36,800人→31,875人)	
運営費負担金収益	1,066,801	381,853	183,874	1,632,528	1,091,696	393,030	149,517	1,634,243	24,895	11,177	△34,357	1,715	周産期医療に要する経費の増	精神病院の運営に要する経費の増	看護師養成確保事業に要する経費の減
その他営業収益	233,784	74,102	0	307,886	228,265	72,691	0	300,956	△5,519	△1,411	0	△6,930			
営業外収益	98,478	15,581	0	114,059	90,758	13,712	1	104,471	△7,720	△1,869	1	△9,588			
運営費負担金収益	10,007	9,952	0	19,959	8,262	9,602	0	17,864	△1,745	△350	0	△2,095			
その他営業外収益	88,471	5,629	0	94,100	82,496	4,110	1	86,607	△5,975	△1,519	1	△7,493			
臨時利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
費用の部	16,433,236	2,143,606	364,689	18,941,531	16,093,234	2,038,206	256,522	18,387,962	△340,002	△105,400	△108,167	△553,569			
営業費用	16,378,635	2,122,336	364,689	18,865,660	16,052,263	2,018,917	256,522	18,327,702	△326,372	△103,419	△108,167	△537,958			
医業費用	15,683,128	2,080,046	0	17,763,174	15,396,637	1,983,172	0	17,379,809	△286,491	△96,874	0	△383,365			
給与費	7,938,441	1,474,322	0	9,412,763	7,621,629	1,414,641	0	9,036,271	△316,812	△59,681	0	△376,492	職員数の減	職員数の減	
材料費	4,307,539	94,006	0	4,401,545	4,511,409	90,252	0	4,601,662	203,870	△3,754	0	200,117	医薬品費の増		
経費	2,140,994	301,467	0	2,442,461	2,088,348	274,015	0	2,362,363	△52,646	△27,452	0	△80,098	水道光熱費及び修繕費の減	委託費の減	
減価償却費	1,224,073	201,264	0	1,425,337	1,125,896	198,137	0	1,324,034	△98,177	△3,127	0	△101,303	建設改良の減	建設改良の減	
その他医業費用	72,081	8,987	0	81,068	49,355	6,127	0	55,481	△22,726	△2,860	0	△25,587	研修費の減		
一般管理費	0	0	358,865	358,865	0	0	254,139	254,139	0	0	△104,726	△104,726			職員数減に伴う給与費の減
控除対象外消費税等	695,507	42,290	5,824	743,621	655,626	35,745	2,382	693,753	△39,881	△6,545	△3,442	△49,868	器械備品購入費の減		
営業外費用	19,251	21,016	0	40,267	14,041	19,289	0	33,330	△5,210	△1,727	0	△6,937			
臨時損失	35,350	254	0	35,604	26,930	0	0	26,930	△8,420	△254	0	△8,674			
当期純利益	211,932	20,547	△180,815	51,664	253,735	22,865	△107,004	169,596	41,803	2,319	73,811	117,933			
(経常利益)	247,282	20,801	△180,815	87,268	280,665	22,865	△107,004	196,526	33,383	2,064	73,811	109,258			
(経常利益 本部費配賦込)	84,549	2,720	0	87,268	184,361	12,165	0	196,526	99,813	9,445	0	109,258			
経常収支比率	101.51%	100.97%	50.42%	100.46%	101.75%	101.12%	58.29%	101.07%							

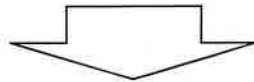
(注)表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。

令和元年度業務実績評価

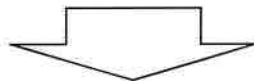
1 令和元年度業務実績の自己評価結果

(1) 自己評価の方法

- ① 年度計画の個別項目ごとに達成状況を5段階評価（5点、4点、3点、2点、1点）
 ※3点が標準（達成度90～100%未満）



- ② 年度計画の4つの大項目ごとに達成状況を5段階評価（s、a、b、c、d）
 ※bが標準（評点①の単純平均値2.7以上3.4以下）
 （d/1.8以下、c/1.9～2.6、b/2.7～3.4、a/3.5～4.2、s/4.3以上）



- ③ 年度計画全体の達成状況を5段階評価（S、A、B、C、D）
 ※Bが標準（評点②の加重平均値2.7以上3.4以下）
 （D/1.8以下、C/1.9～2.6、B/2.7～3.4、A/3.5～4.2、S/4.3以上）

(2) 自己評価の結果

◆全体的な状況

中期計画の進捗は「順調」（A評価）

◆評定概要

区分	評価項目数	評点別項目数					評点平均数	評定
		5点	4点	3点	2点	1点		
業務の質の向上	43	2	26	15	0	0	3.7	a
業務運営の改善及び効率化	7	0	4	3	0	0	3.6	a
財政内容の改善	1	0	1	0	0	0	4.0	a
その他重要事項	2	0	1	1	0	0	3.5	a
全体	53	2	32	19	0	0	3.8	A

※全体欄の評点平均値は、加重平均したもの

2 令和元年度の主要な成果

(1) 業務の質の向上

① 医療の提供

ア 県立総合医療センター

- (ア) 県の基幹病院として、高度専門医療を充実させるとともに、地域の医療機関との連携を強化し、県民により質の高い医療を継続的に提供
- (イ) 県立病院として、救急医療、周産期医療、へき地医療、感染症医療など、他の医療機関では対応が困難な医療や不採算医療などに対し、積極的に対応
- (ウ) 専門的な知見を有するコンサルタントと職員が協同し、新規入院患者数の増加や病床利用率の向上に取り組むなど経営基盤を強化
- (エ) NICU入院児支援コーディネーター等が中心となり、地域保健・医療・福祉関係機関と連携して施設や住宅への移行支援を実施
- (オ) へき地等の地域医療を担う総合医を独自のプログラムにより積極的に育成
- (カ) 感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症への迅速な対応の実施
- (キ) がんの病態に応じ、胸(腹)腔鏡下手術や薬物療法など高度・専門的な医療を引き続き提供
- (ク) 消化器病センターにおいて、内科、外科が連携して高齢者や食道癌などの大手術の患者に対し、術前から、がんリハビリテーションを積極的に実施
- (ケ) 心臓疾患に対する専門的な医療体制を強化するため、心血管カテーテル治療室を整備
- (コ) かかりつけ医では対応できない重症透析患者に対応するため、血液浄化療法センターを整備
- (サ) 人工関節センターでの人工関節(股・膝)置換術件数は中国・四国地方でトップ
 - ・人工関節(股・膝)置換術件数 641件(計画 400件)
- (シ) 院内で365日リハビリテーションを実施する他、後方支援病院と連携した連続的リハビリテーションを実施
- (ス) その他
 - 認知症に対し、脳神経内科・神経科・脳外科の三科の専門性を活かした診断と治療の実施
 - てんかんに対する高密度脳波計や、脳波ビデオ同時記録装置等による高度な治療を提供

イ 県立こころの医療センター

- (ア) 県の医療計画に基づく精神科救急体制の高度化・効率化の推進や、専門医療、司法精神医療の充実
- (イ) 認知症疾患医療センターと福祉・介護機関などが連携した相談・支援体制の充実
- (ウ) 山口障害者職業センター等と連携した新規就労及び復職支援の開始
- (エ) 災害拠点精神科病院の役割が担えるよう必要な機能及び災害派遣精神医療チーム(DPAT)の充実

ウ 地域医療への支援

- (ア) 患者支援連携センターにおいて、病病連携会議を開催するなど、地域の医療機関との連携体制を強化（総合C）
 - ・紹介率 83.5%（50%以上）、逆紹介率 96.5%（70%以上）
 - ※括弧内は地域医療支援病院の承認要件
- (イ)「県央デルタネット」の患者情報開示施設として、重複検査や重複投薬などが防止できるよう、必要な情報を開示

エ 医療従事者の確保、専門性の向上

- (ア) インターネットを通じた効果的な採用情報の発信に努めるとともに、採用試験の日程の見直し及び随時実施
- (イ) 医師看護師等の研修参加や専門的な資格取得に対する支援

オ 医療安全対策、患者サービスの向上

- (ア) 転倒・転落事故発生率は両病院共、非常に低い水準を維持
- (イ) 医薬品に関する院内情報誌を定期的に発行するなど、安全管理の充実に向けた取組を推進
- (ウ) 手術室の臨床工学技士配置人数を増員し、装置不具合発生時の対応強化と看護師からのタスクシフトを推進
- (エ) 新型コロナウイルス感染症の院内感染防止のため、面会者等に対する検温・問診を実施
- (オ) 入退院支援センターにおいて、令和元年11月から病状により同センターを経由しない患者に対し、病棟での入退院支援を新たに開始（総合C）
- (カ) がん等に罹患した患者の治療と仕事の両立に関する相談を実施するほか、令和元年10月から徳山ハローワークと協働し、離職している患者への就職支援窓口を開設（総合C）
- (キ) 病棟再編による各センターの専門性に合わせ、専門・認定看護師がそれぞれの専門分野に関連するチーム医療を実施（総合C）
 - 長期入院患者の地域移行の推進のため、多職種支援チーム(地域生活支援MDT)による退院支援を実施（こころC）
- (ク) 患者及び来院者のニーズを把握するため、患者満足度アンケートを実施
 - ・総合医療センター患者満足度 98.5%（計画 95.0%）
 - ・こころの医療センター患者満足度 96.3%（計画 95.0%）
- (ケ) 県民公開講座の開催、病院広報誌の定期発行、テレビ「やまぐち医療最前線」などにより、健康情報や高度・専門医療の現状などの情報を発信

カ 施設設備の整備

- ・心血管カテーテル治療室や血液浄化療法センターの整備（総合C）
- ・薬剤調剤支援システムの更新（こころC）

② 医療に関する調査及び研究

- 疫学調査や臨床試験、多施設共同研究等を積極的に受託（総合C）
 - ・製造販売後調査 16件、治験 2件

③ 医療従事者等の研修

医療関係の実習生の積極的な受入を実施

(初期臨床研修医 33 人、後期臨床研修医 9 人、救急救命士 46 人) (総合C)

(2) 業務運営の改善等

① 内部統制の推進

内部監査規程に基づき両病院を対象に内部監査を実施するとともに、内部統制の推進に必要なリスク管理規程を整備

② 効率的・効果的な業務運営、経営改善

ア 経営管理体制の強化

専門的な知見を有するコンサルタントと職員が協同し、経営改善に取り組むなど経営基盤を強化 (総合C)

イ 組織・人員配置の弾力的運用

リハビリテーションの充実のため理学療法士 4 名、作業療法士 1 名を増員 (総合C)

ウ 2 病院の連携

医薬品の共同調達については、令和元年 10 月より両病院に山口大学医学部附属病院を加えた 3 病院による調達を開始することで、効率的な業務運営を実施

③ 収益の確保、費用の節減・適正化

ア 収益の確保

病棟を跨ぐ、きめ細やかなベットコントロールにより病床を効率的に運用 (総合C)

外部委託により平成 28 年度から約 16,500 千円の未収金を回収 (総合C)

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	合計
約 6,600 千円	約 4,500 千円	約 3,400 千円	約 2,000 千円	約 16,500 千円

イ 費用の節減

全国の医療機関のデータに基づくベンチマークによる価格交渉などにより、適正な価格での契約・購入を実施

・材料費対医業収益比率 30.2% (計画 29%以下) (総合C)

・材料費対医業収益比率 5.8% (計画 6%以下) (こころC)

(3) 財務内容の改善

経常収支の改善

ア 収支実績

病院機構全体の経常利益は、黒字となった。

(単位：千円)

区分	R1 計画	R1 実績	差引
総合医療センター	311,931	280,665	△31,266
こころの医療センター	15,460	22,865	7,405
機構本部	△199,702	△107,004	92,698
法人全体	127,689	196,526	68,839

イ 収益及び費用の状況

収益の部は、前年度に比べ、582,901千円増加

- ・入院診療収益は、新規入院患者数や病床利用率の増（総合C）等
- ・外来診療収益は、診療単価の増（総合C）等

《参考》

区 分		R1実績	
		総合医療センター	こころの医療センター
入院	延患者数（人）	161,806	60,344
	診療単価（円）	68,108	22,384
外来	延患者数（人）	194,880	31,875
	診療単価（円）	18,719	7,232

費用の部は、前年度に比べ、591,209千円増加。

- ・医薬品費の増、減価償却費の増等（総合C）

ウ 経営指標の状況

- ・法人全体経常収支比率 101.1%（前年度 101.1%）
- ・総合医療センター経常収支比率 101.7%（前年度 101.6%）
- ・こころの医療センター経常収支比率 101.1%（前年度 103.8%）
- ・総合医療センター医業収支比率 97.0%（前年度 96.2%）
- ・こころの医療センター医業収支比率 79.8%（前年度 82.1%）
- ・総合医療センター流動性比率 160.8%（前年度 185.3%）
- ・こころの医療センター流動性比率 361.4%（前年度 420.8%）

（単位：百万円）

区 分	総合C	こころC	機構本部	法人全体
総収益	16,347	2,061	150	18,558
経常収益	16,347	2,061	150	18,558
営業収益	16,256	2,047	150	18,453
うち医業収益	14,936	1,582	0	16,518
営業外収益	91	14	0	105
臨時利益	0	0	0	0
総費用	16,093	2,038	257	18,388
経常費用	16,066	2,038	257	18,361
営業費用	16,052	2,019	257	18,328
うち医業費用	15,397	1,983	0	17,380
営業外費用	14	19	0	33
臨時損失	27	0	0	27
経常損益	281	23	△107	197
純利益	254	23	△107	170

(4) その他重要事項

① 人事に関する事項

ア 職種別人材の需給状況や医療機関の採用状況などの情報収集に努め、採用試験のあり方について検証を行った上で、総合医療センター推薦枠の拡充及び採用試験時期の前倒しを実施（総合C）

イ 人事・給与制度の適正な運用を図るため、職員の要望を踏まえ、業務の精神的・身体的負担や危険性等を鑑み、各種手当や調整額を拡充

ウ 看護師不足に対応するため、専門的な知見を有するコンサルタントと職員が共同して、新人看護師の離職防止や教育指導を充実

② 就労環境に関する事項

ア 職員満足度アンケート調査の結果をもとに、業務用PCの増設等、就労環境の改善を促進

イ 長時間労働の是正に向けた強化及び雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保

3 対処すべき課題

(1) 県立病院として対応すべき医療の充実（県立総合医療センター） No. 1

県立病院として、救急医療、周産期医療、へき地医療、災害医療、感染症医療など、他の医療機関では対応困難な医療や不採算医療などに対する積極的な取組が必要である。特に、感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症の発生に対し、引き続き、迅速に対応する必要がある。

また、多くの専門診療科を有する県の基幹病院として、高度専門医療を充実させるとともに、地域の医療機関との連携体制を強化させ、県民に対し、より質の高い医療の継続的な提供が必要である。

さらに、病院本館は、築30年を経過し、老朽化と狭隘化が進んでおり、建替を含めた総合的な施設整備計画の検討が必要である。

(2) 県立病院として対応すべき医療の充実（県立こころの医療センター） No. 16

災害拠点精神科病院の役割が担えるよう必要な機能の充実に努めるとともに、被災地域での精神科医療などの支援を行う災害派遣精神医療チーム（DPAT）の充実を図る必要がある。

(3) 医療従事者の確保 No. 26

医療の質の向上を図るため、高度専門医療を担う医師の確保に努める必要がある。また、深刻な看護師不足に対応するため、関係機関との連携による採用強化、新人看護師の離職防止や教育指導のさらなる強化に努めるとともに、ICU等の重症化ユニットを運用するための専門性の高い看護師を育成する必要がある。

◇ 令和元年度決算

1 企業会計ベース

(1) 貸借対照表の要旨 (令和2年3月31日現在) (単位 百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	13,114	固定負債	12,128
有形固定資産	12,424	資産見返負債	967
土地	3,734	長期借入金	2,346
建物	6,591	移行前地方債償還債務	3,664
器械備品	2,068	退職給付引当金	5,152
その他	31	流動負債	3,682
無形固定資産	690	一年以内返済予定	1,134
投資その他の資産	1	未払金	1,926
流動資産	6,744	その他	622
現金及び預金	3,444	【負債合計】	15,810
未収入金	3,236	資本金	3,144
その他	64	利益剰余金	904
		【純資産合計】	4,048
合計	19,859	合計	19,859

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。以下同じ。

(2) 損益計算書の要旨 (平成31年4月1日～令和2年3月31日) (単位 百万円)

費用及び損益の部		収益の部	
営業費用	18,328	営業収益	18,453
医業費用	17,380	医業収益	16,518
一般管理費	254	運営費負担金収益	1,634
その他	694	その他	301
営業外費用	33	営業外収益	105
臨時損失	27	運営費負担金収益	18
当期純利益	170	その他	87
		臨時利益	0
合計	18,558	合計	18,558

2 官庁会計ベース

(単位 百万円)

収入の部		支出の部	
営業収益	18,390	営業費用	16,983
医業収益	16,544	医業費用	16,618
運営費負担金収益	1,634	一般管理費	279
その他	212	その他	86
営業外収益	111	営業外費用	33
運営費負担金収益	18	臨時損失	0
その他	93	資本支出	1,941
臨時利益	0	建設改良費	1,039
資本収入	492	償還金	902
長期借入金	492	資金収支	35
その他資本収入	0		
合計	18,993	合計	18,993

令和元年度事業年度評価（判断の目安）

〈個別項目別評価〉

評価基準	数値目標に関する項目	取組目標に関する項目 (左欄の項目以外の項目)
5 年度計画を十二分に達成	達成度 120%以上	取組の結果、所期の目的を上回る優れた成果等を得たとき
4 年度計画を十分達成	達成度 100～120%未満	取組の結果、所期の目的を上回る成果等を得たとき
3 年度計画を概ね達成 【標準】	達成度 90～100%未満	取組の結果、所期の成果等を得たとき
2 年度計画はやや未達成	達成度 70～90%未満	取り組んではいるが、所期の成果等を得られなかったとき
1 年度計画は未達成	達成度 70%未満	取組が行われていないとき

〈大項目別評価〉

評価基準	大項目内の個別項目別評価の評点平均値 (小数点以下第2位四捨五入)
s 中期計画の進捗は優れて順調	4.3以上
a 中期計画の進捗は順調	3.5 ～ 4.2
b 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】	2.7 ～ 3.4
c 中期計画の進捗はやや遅れている	1.9 ～ 2.6
d 中期計画の進捗は遅れている	1.8以下

〈全体評価〉

評価基準	大項目内の個別項目別評価の評点平均値をそれぞれ各大項目のウエイトで乗じて得た数値の合計値 (小数点以下第2位四捨五入)
S 中期計画の進捗は優れて順調	4.3以上
A 中期計画の進捗は順調	3.5 ～ 4.2
B 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】	2.7 ～ 3.4
C 中期計画の進捗はやや遅れている	1.9 ～ 2.6
D 中期計画の進捗は遅れている	1.8以下